日産のスポーツカー、では、1クラス上の—あたり1000馬力以上を超えたモンスターばっかりだし、しかし、クルマというのは、ただ速ければいいというものではなく、ドライバーとのコミュニケーションが取れてよりクルマを楽しめるようにするのもチューニングの醍醐味。そんなクルマに関する様々なニーズに応えてくれるのが、今回紹介するナインレコードだ。

ナインレコードは、ユーザーの要望に応じてエンジンのセッティングを変更するのはもちろん、ノーマル車両でも、吸排気系やECUのセッティングを変更することで、エンジンの最大性能を引き出すことはもちろん、燃費に関する改善も行なっている。

ユーザーの要望に応じてエンジンのセッティングを変更するのはもちろん、ノーマル車両でも、吸排気系やECUのセッティングを変更することで、エンジンの最大性能を引き出すことはもちろん、燃費に関する改善も行なっている。

デモカーであるシェルビーGT500は、エンジン本体はノーマルのままで最大出力765ps/7100rpm&最大トルク112.0kgm/4600rpmまでパワーアップしている。

セッティングに使用する「DIM-TECH社製DYNO-RACE」は実際4輪をシャシダイで回転させる(特許)ESSシステムを採用しており、安全かつ正確にパワー測定することが可能。

ナインレコード
9records.jp
〒347-0057
埼玉県加須市栄2-4-36
☎0480-48-7151
定休日　月曜日

Point in Check

エンジンを熟知し製作も出来るからこそのコンピューターセッティング

ナインレコードには専用セットのセッティングの依頼や、自社開発のアイ専用ECU「RACE PLUS」の装着で実現できるフルセットの入庫もOK。今回のオーダーは「クルーザーするお客様で、ECUをセッティングしてもらいパワーもトルクが向上するように、&純正マフラーのままで、純正状態にパワーで比較。1速で7.2kgmの最適作動域を更に向上させ、トルクカーブを補正するといった内容でした。

セルにC7コルベットのノーマルとセッティング後の比較グラフ。ディアブロ(ディバイス)に元から内蔵されているデータでは約3%ほどしか上がらなかったが、これは他の車にも平均的に言えることだ。

日常ユースから1000馬力超まで!?
クルマを最適に調律するマイスター。

02 9RECORDS

Text & Photo : 田中 亨 Toru Tanaka